

2023年度環境経営レポート

(対象期間:2023年4月～2024年3月)

資源の道を拓く



2024年6月15日 発行 Ver.2



株式会社 江合

目 次

I 組織の概要	
1. 経営方針	1
2. 会社概要	2
3. 事業内容	
1) 事業部門の内容	3
2) リサイクルプラントの事業内容	4
3) 事業の実績	5
廃材受入量・生産量グラフ	6
4) 資格取得状況	7
4. 対象範囲ならびに実施体制・役割分担	
1) 対象範囲	8
2) 事業場全体の実施体制図	8
3) 役割一覧	9
II 環境経営方針	10
III 環境経営目標	
1. (旧)リサイクルプラント部門	11
2. (旧)合同事務所部門	11
IV 環境経営目標の実績	
1. リサイクルプラント部門	12
2. 合同事務所部門	12
3. 輸送部門	12
4. 各実績値グラフ	13~16
V 環境活動計画とその取組結果と評価並びに次年度の取り組み内容	
1. リサイクルプラント部門	17
2. 合同事務所部門	17
3. 輸送部門	17
主な活動紹介	18~19
VI 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟などの有無	
1. 産業廃棄物収集運搬・処分業部門	20
2. 合同事務所部門	20
VII 代表者による全体の評価と見直し・指示	21

I. 経営方針

【理念】

時代の波を機敏に捉え、関わる全ての人々に
幸せをもたらす必要不可欠の企業であり続ける

【行動指針】

- | | |
|-------------|-------------------------------|
| ○責：法令順守を最優先 | ☞ 法令を遵守し、安心して安全な業務遂行を心がけます。 |
| ○志：一步先を考え行動 | ☞ 指示待ちの心を捨て、今何をすべきかを考え行動します。 |
| ○和：和の精神生涯の財 | ☞ 縁を大切にして、寛容・信頼・尊重を常として精励します。 |
| ○連：連携の力は無限大 | ☞ 自分の力を最大に発揮し、連携によって可能性を高めます。 |
| ○信：自らを信じて挑戦 | ☞ 自分を信じてあげよう、そして迷わず行動・挑戦します。 |

《安全方針》

『安全なくして企業なし』

「安全は我が身・家族のため」

人生を変えてしまう災害の元を見逃すな！

《環境方針》

『小さな気づきと行動の連鎖を築こう』

ちょっと気づいたらちょっとの行動してみよう

その積み上げが地球環境を変える

平成28年7月1日制定



株式会社 江 合
代表取締役 石ヶ森 信幸

2.会社概要

【商号】	株式会社 江合
【代表者】	代表取締役 石ヶ森 信幸
【所在地】	989-6102 宮城県大崎市古川江合本町三丁目1番1号 TEL:0229-23-8222 FAX:0229-22-3773 Mail : eaig@chive.ocn.ne.jp
【資本金】	2,000万円
【設立年月日】	昭和28年8月17日
【事業所】	江合リサイクルプラント 989-6228 宮城県大崎市古川清水字三丁目石田18-2 TEL:0229-26-3626 FAX:0229-25-6885
【環境管理責任者】	常務取締役 加藤 嘉明
【従業員数】	7名
【売上高】	10,484万円(2023年度実績)
【事業概要】	<ul style="list-style-type: none">・産業廃棄物処分業・産業廃棄物収集運搬業・土木工事業・骨材販売業 ※(詳細は別紙事業内容参照)

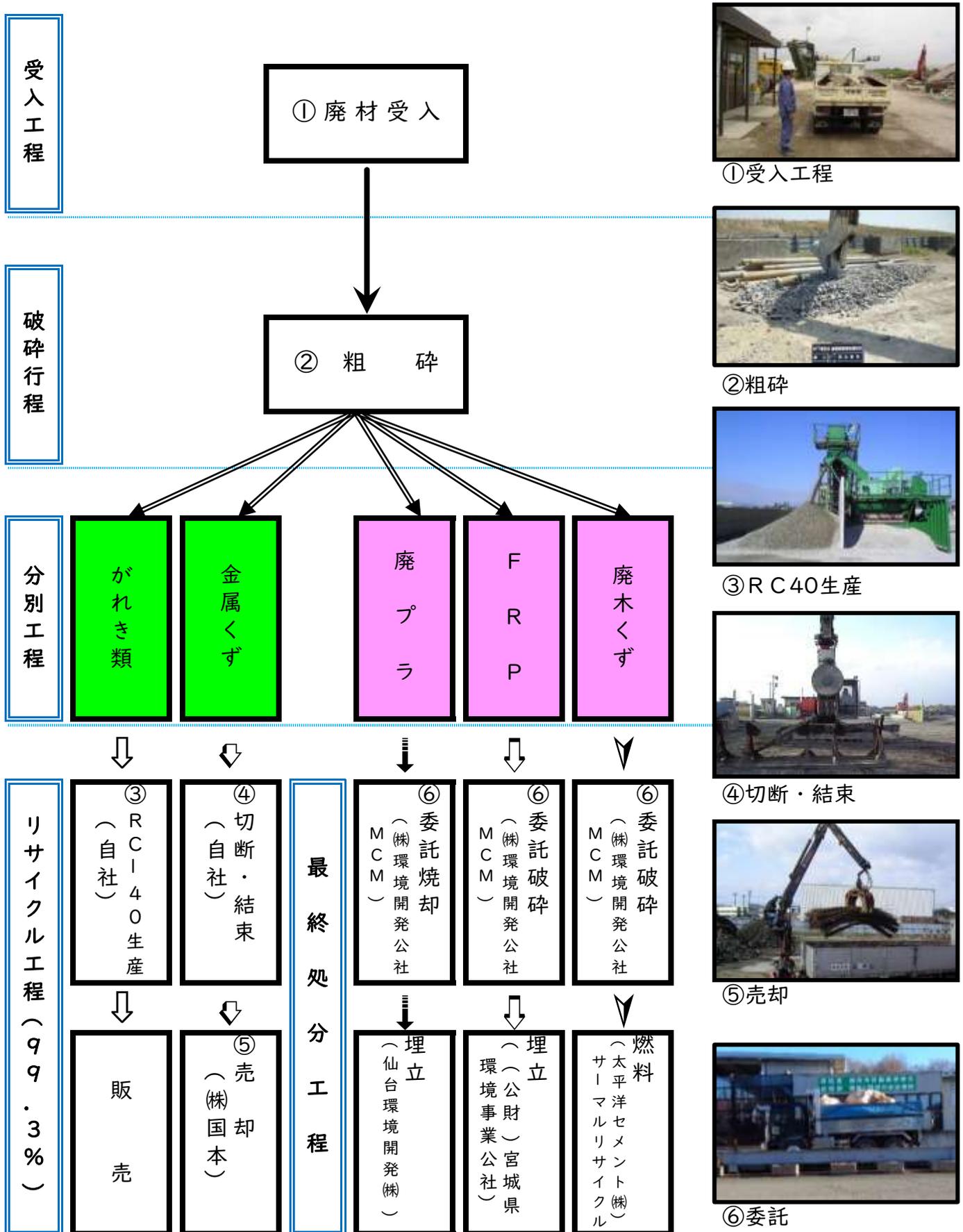
3. 事業内容

1) 事業部門の内容

江合リサイクルプラント	骨材販売業	RC40（再生コンクリート碎石）他
	産業廃棄物処分業	宮城県知事 許可番号 00425003419
	事業区分	中間処分－破碎
	産業廃棄物の種類	金属くず（がれき類に付着したものに限る）、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類 以上3種類（これらのうち石綿含有産業廃棄物を除く。）
	許可年月日	平成 7年 3月30日
	許可更新年月日	令和 2年 3月30日
	許可有効年月日	令和 7年 3月29日
	設備・施設	RC-30AKライン（破碎設備）
		40トン計量台貫
		ホイールローダ 2機
		パワーショベル 2機
	処理能力	696t/日（87t/時間 8時間稼働）
敷地面積	8,731㎡	
保管上限	12,250m ³	
常駐人員	4名	
輸送部	産業廃棄物収集運搬業	宮城県知事 許可番号 00405003419
	事業の範囲	廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類 以上4種類（これらのうち石綿含有産業廃棄物を除く。水銀使用製品産業廃棄物を除く。廃プラスチック類、金属くず並びにガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くずは、自動車等破碎物を除く。） 積替え又は保管行為を除く。
		販売用骨材運搬
	許可車両	大型ダンプ（10t） 1台
	許可年月日	平成 5年 7月30日
	許可更新年月日	令和 5年 7月30日
許可有効年月日	令和10年 7月29日	
土木部	許可番号	宮城県知事 許可（般-4）第1109号
	許可を受けた建設業	土木工事業
		とび・土木工事業
		舗装工事業
		解体工事業
	許可年月日	昭和39年 3月27日
許可更新年月日	令和 4年 4月15日	
許可有効年月日	令和 9年 4月14日	

2) リサイクルプラントの事業内容

《 廃材の処理工程図 》



3)事業の実績

【令和5年度廃材受入量】

月	がれき類(ト)	RC40生産量(ト)
4月	1,281.09	1,117
5月	1,330.43	1,029
6月	936.76	1,477
7月	2,010.03	1,724
8月	1,408.36	2,584
9月	1,392.30	1,287
10月	1,736.70	1,496
11月	1,511.78	1,876
12月	2,105.59	2,082
1月	1,539.64	1,057
2月	1,826.68	1,178
3月	1,095.91	2,058
合計	18,175.27	18,965

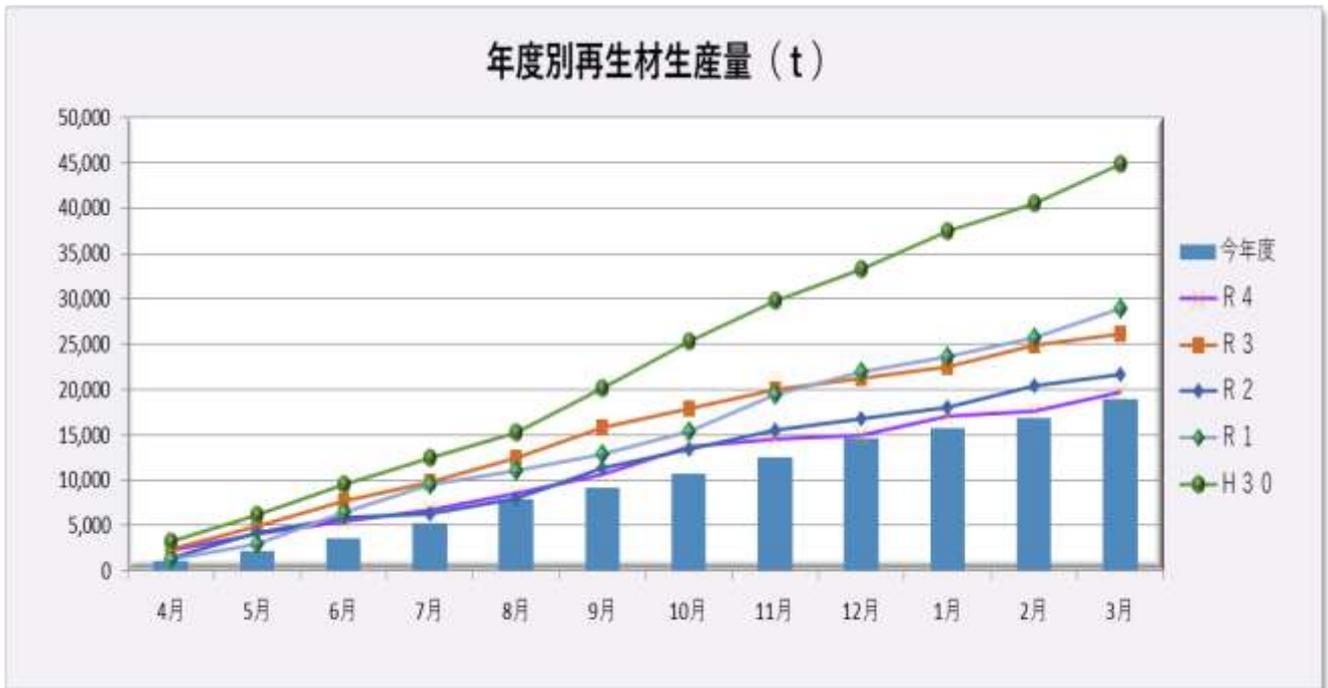
【令和5年度廃材運搬量】

	がれき類(ト)
収集運搬実績数量	22.20

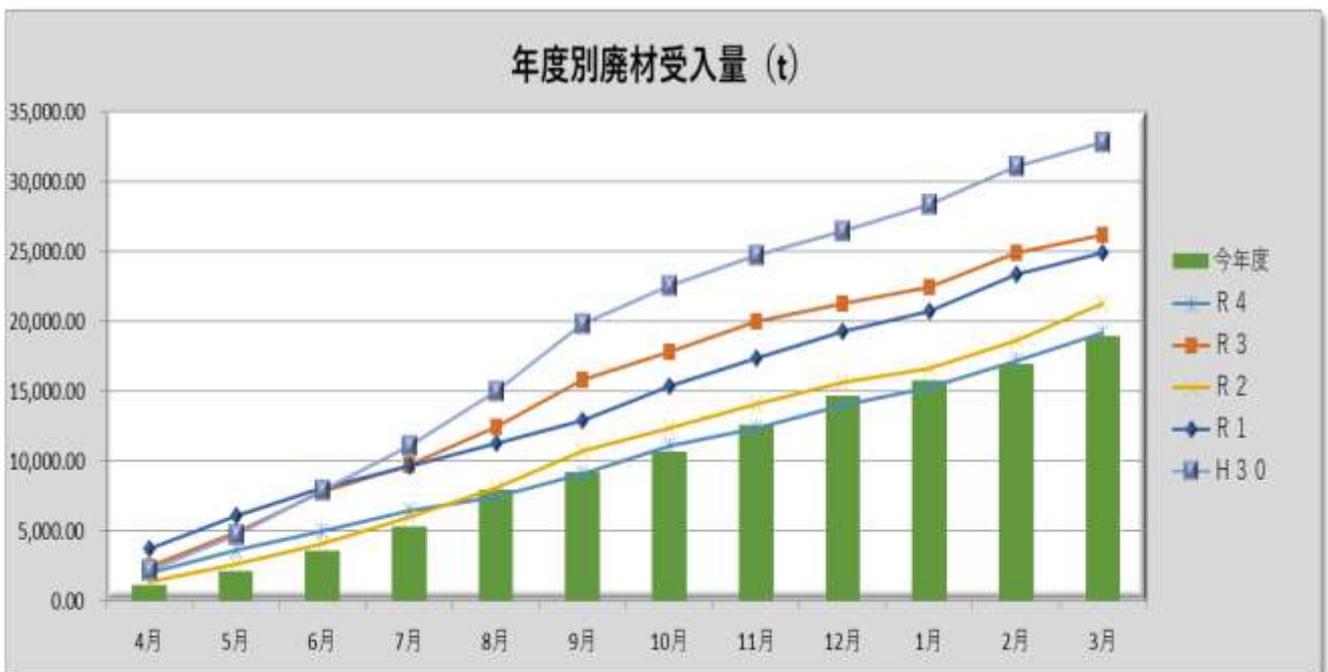
【令和5年度建設工事】

実績なし

年度別再生材生産量（累積）



年度別廃材受入量（累積）



4)資格取得状況

資格種類	認定機関	石ヶ森	加藤	千坂	桜井	高橋	結城	宗彰
車両系建設機械(整地等)	(株)日立建機教習センタ宮城教習所			○				
	建設業労働災害防止協会宮城県支部					○		
	(株)小松車両教習所東京教習センタ				○			
	コベルコ教習所(株)市川教習センター							○
車両系建設機械(解体用)	(株)PEO建機教習センタ宮城教習所				○			
	コマツ教習所(株)宮城センタ			○				
	(株)日立建機教習センタ宮城教習所					○		
大型車	宮城県公安委員会				○	○		
ローラー	木戸建設(株)労働安全管理室					○		
高所作業車	木戸建設(株)労働安全管理室					○		
玉掛け	小野リース(株)仙台教習センター					○		
	(公社)宮城労働基準協会			○	○			
小型移動式クレーン	小野リース(株)仙台教習センター					○		
	(公社)ポイ・クレーン安全協会宮城事務所			○				
足場組立等作業主任者	(社)宮城労働基準協会					○		
	建設業労働災害防止協会新潟県支部		○					
フォークリフト	(社)コマツクレーン教習センター					○		
不整地運搬車	(株)日立建機教習センタ宮城教習所					○		
除雪講習	(一社)日本建設機械施工協会東北支部			○		○		
労働衛生管理員	宮城労働基準局	○						
安全推進員	宮城労働基準局	○						
安全衛生推進者養成	宮城労働基準協会	○						
危険予知訓練	宮城労働基準協会古川支部	○						
大気関係公害防止管理者研修	東北通商産業局	○						
大気関係第4種・公害防止管理者	(社)産業公害防止協会	○						
一般粉じん関係公害防止管理者	日本砕石協会		○					
産業廃棄物処理業の許可申請(更新)収集運搬過程	(公財)日本産業廃棄物処理振興センター	○	○					
産業廃棄物処理業の許可申請(更新)処分過程	(公財)日本産業廃棄物処理振興センター	○	○					
産業廃棄物処理業の許可申請(新規)収集運搬過程	(公財)日本産業廃棄物処理振興センター							○
産業廃棄物処理業の許可申請(新規)処分過程	(公財)日本産業廃棄物処理振興センター							○
産業廃棄物中間処理施設技術管理者	(財)日本環境衛生センター	○						
採石業務管理者	宮城県	○	○					
石綿使用建築物等解体等業務特別教育	建設業職業能力開発学院		○					
1級土木施工管理技士	建設省	○	○					
監理技術者	(一財)全国建設研修センター	○	○					
2級舗装施工監理技術者	(一財)日本道路建設業協会		○					
建設工事安全講習	古川地区労働災害防止連絡会議	○						
安全衛生管理担当者	建設業労働災害防止協会宮城県支部		○					
安全運転管理者	宮城県公安委員会		○					
酸素欠乏危険作業特別教育	新潟県労働衛生医学協会		○					
普通救命講習	大崎地域広域行政事務組合消防本部		○					
型わく支保工の組立等作業主任者	建設業労働災害防止協会新潟県支部		○					
土止め支保工作業主任者	建設業労働災害防止協会新潟県支部		○					
地山の掘削作業主任者	建設業労働災害防止協会新潟県支部		○					
登録建設業経理士2級	(一財)建設業振興基金						○	
登録解体工事講習	(一財)全国建設研修センター	○	○					
職長・安全衛生責任者	建設業労働災害防止協会宮城県支部			○	○	○		
フルハーネス型安全帯使用作業特別教育	建設業労働災害防止協会宮城県支部			○				
大型特殊	宮城県公安委員会			○		○		

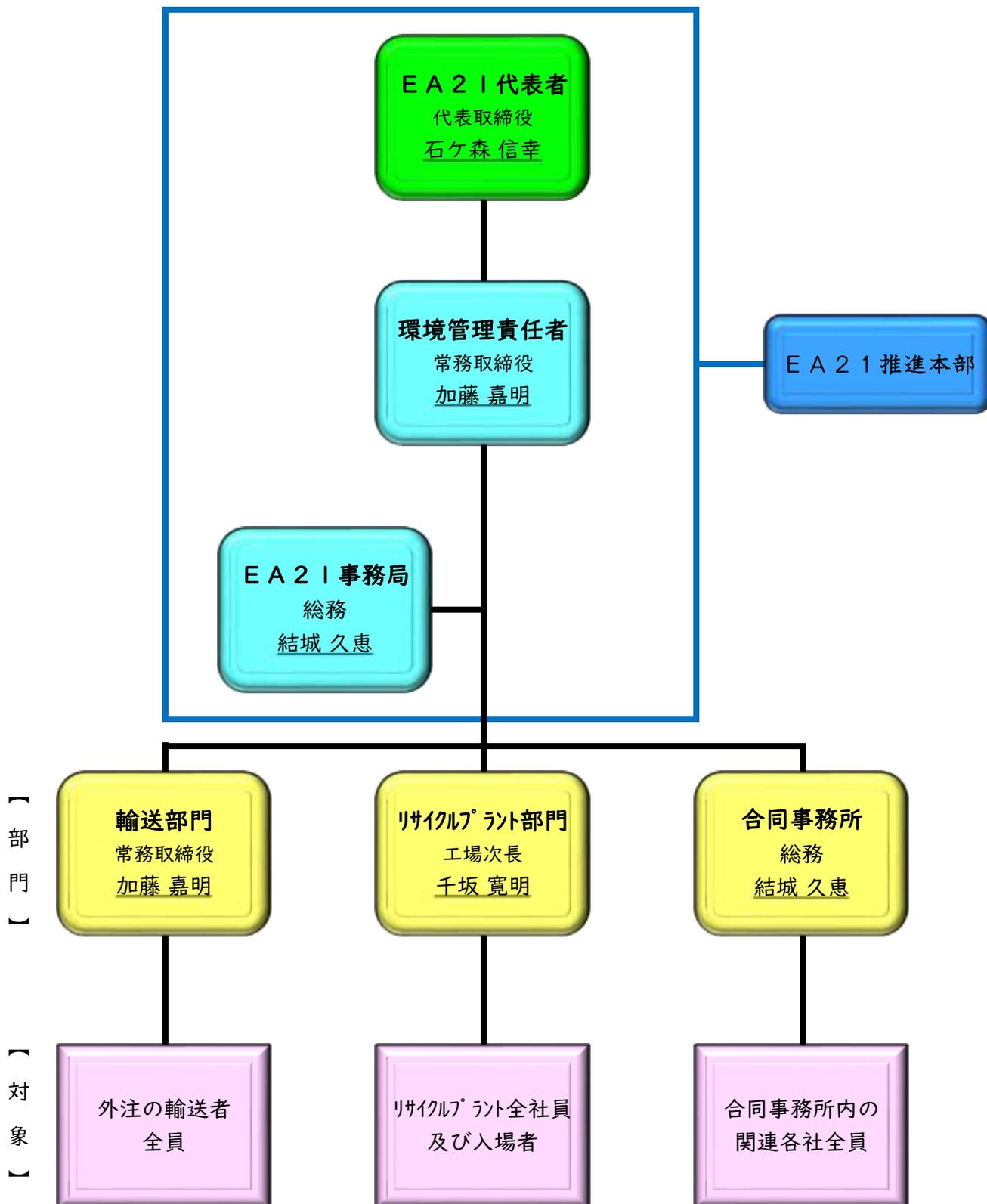
4. 対象範囲ならびに実施体制・役割分担

1)対象範囲

全組織、全活動を対象にします。

(但し、土木工事業は実績がない為、対象外とします。)

2)実施体制



3)役割一覧

E A 2 1 代 表 者	代表取締役 石ヶ森 信幸
<ul style="list-style-type: none"> ・経営理念・環境理念・環境方針・環境目標を策定し、全体の評価と見直しをする。 ・実施体制の構築…環境管理責任者を任命し、環境への取り組みに必要な人員・設備・費用等を適切に準備する。 ・経営上の課題とチャンスを整理し、明確にする。 	
環 境 管 理 責 任 者	常務取締役 加藤 嘉明
<p>代表者に代わってE A 2 1ガイドラインの要求事項を満たす環境経営システムを構築・運用し、その状況を代表者に報告する責任と権限を有することとする。</p>	
E A 2 1 推 進 本 部	石ヶ森 信幸 ・ 加藤 嘉明 ・ 結城 久恵
<p>環境経営システムE A 2 1の広報・周知・データに関する会議を定期的に行う。</p>	
リサイクルプラント部門	工場次長 千坂 寛明
<p>環境経営システムE A 2 1に基づき、江合リサイクルプラントを運営し、その状況を環境管理責任者に報告する。 産業廃棄物処理責任者。</p>	
輸 送 部 門	常務取締役 加藤 嘉明
<p>環境経営システムE A 2 1に基づき、輸送班を運営する。</p>	
合 同 事 務 所	結城 久恵
<p>環境経営システムE A 2 1に基づき、合同事務所内の関連各社に環境経営活動を周知広報し、協力を要請する。</p>	
E A 2 1 事 務 局	結城 久恵
<p>環境経営システムE A 2 1の広報・周知・データ管理など、E A 2 1全般の事務を行う。</p>	

【経営理念】

時代の波を機敏に捉え、関わる全ての人々に幸せをもたらす、
必要不可欠の企業であり続ける

【安全行動指針】

‘安全なくして、企業なし’

【環境理念】

経済活動と環境の両立を目指し、私たちができることを
一つ一つ積み上げ、地域社会を未来へ繋ぐ責任を果たす
～ 小さな気づきと行動の連鎖を築こう！～

【環境方針】

環境経営は、当社業そのものであり企業存続の柱となることから、
常に機能の適正化と更なる高度化を目指して取り組むものとする。

1. リサイクル業の機能を高めて資源循環型社会構築の一翼を担い
2. 全ての事業活動でのCO²排出の抑制に取り組み
3. 環境関連法規等の遵守を基とし
4. 以てSDGs、カーボンニュートラルの推進に貢献する



株式会社 江合
代表取締役 石ヶ森 信幸

制定 2009年 4月28日
改定 2021年 4月 1日
改定 2022年 4月 1日

Ⅲ. 環境経営目標

1. リサイクルプラント部門

	単位	基準値	2023年度 目標値 対基準値削減率	2024年度 目標値 対基準値削減率	2025年度 目標値 対基準値削減率
購入電力の 二酸化炭素排出量	kg-CO ² /h	14.05 設定 2022年度	14.01 -0.3%	13.98 -0.5%	13.95 -0.7%
ZX210LC BDF使用による 二酸化炭素排出量	kg-CO ² /h	44.00 設定 2020年度	43.87 -0.3%	43.78 -0.5%	43.69 -0.7%
LX110 BDF使用による 二酸化炭素排出量	kg-CO ² /h	19.04 設定 2020年度	18.98 -0.3%	18.94 -0.5%	18.91 -0.7%
ZX200 BDF使用による 二酸化炭素排出量	kg-CO ² /h	41.00 設定 2022年度	40.88 -0.3%	40.80 -0.5%	40.71 -0.7%
ZV70 BDF使用による 二酸化炭素排出量	kg-CO ² /h	25.00 設定 2023年度	24.93 -0.3%	24.88 -0.5%	24.83 -0.7%
産業廃棄物排出量削減	t	<ul style="list-style-type: none"> ・がれきを破碎し再生骨材を生産していますが、排出する産業廃棄物は搬入されたがれきに付着している廃プラや木くずです。 ・自ら削減することはできませんので、環境目標は策定せず数量の把握と搬入業者へ付着物の除去を呼びかけることとします。 			
水使用量の削減	ℓ	<ul style="list-style-type: none"> ・上水道は使用していません。地下水を使用していますが、計測していませんので環境目標は策定せず、使用量の削減に努めることとします。 			
化学物質使用量削減	—	<ul style="list-style-type: none"> ・化学物質は使用していません。 			
自らが生産・販売する製品 に関する項目	—	<ul style="list-style-type: none"> ・重機の更新を予定し燃費向上を図ります。 			

◎重機の環境目標は、稼働時間(h)当たりの環境負荷として策定しています。

◎年2回以上、会社周辺等の環境整備のために清掃活動を実施します。

◎全機種にB5(軽油混和燃料)を使用している為、常時二酸化炭素排出量を5%削減できています。

◎ZV70は2023年5月より稼働開始。基準値を数ヶ月使用して算出。5月から9月までのCO²排出量平均24.2だったので、25.00に設定。(設定日…2023年10月)

2. 合同事務所部門

本社は合同事務所として使用しており、極力他社の協力も得るよう努めます。

	単位	基準値	2023年度 目標値 対基準値削減率	2024年度 目標値 対基準値削減率	2025年度 目標値 対基準値削減率
購入電力の 二酸化炭素排出量	kg-CO ² /年	6058.8 設定 2022年度	6040.6 -0.3%	6028.5 -0.5%	6016.4 -0.7%
LPG使用による 二酸化炭素排出量	kg-CO ² /年	33.8 設定 2022年度	33.7 -0.3%	33.6 -0.5%	33.6 -0.7%
ガソリン使用による 二酸化炭素排出量	kg-CO ² /km	0.21 設定 2020年度	0.2 -0.3%	0.2 -0.5%	0.2 -0.7%
一般廃棄物排出量削減	kg	330.0 設定 2023年度	329.0 -0.3%	328.3 -0.5%	327.6 -0.7%
水使用量の削減	m ³	40.0 設定 2020年度	39.9 -0.3%	39.8 -0.5%	39.7 -0.7%
産業廃棄物量削減	kg	排出はありません。			

◎購入電力 二酸化炭素排出係数は、2025年度終了まで2020年東北電力調整後係数 0.457を使用します。

◎一般廃棄物CO²排出量の基準値を、燃やせないゴミも含めた数量で基準値を設定し直しました。

IV. 環境目標の実績

1. リサイクルプラント部門

	単位	2023年			達成率	評価
		目標値	実績値	実績値/年		
購入電力の 二酸化炭素排出量	kg-CO ₂ /t	14.01 kg-CO ₂ /h	13.71 kg-CO ₂ /h	7,543.0 kg-CO ₂ /年	102.2%	○ 目標達成
ZX210LC BDF使用による 二酸化炭素排出量	kg-CO ₂ /t	43.87 kg-CO ₂ /h	46.17 kg-CO ₂ /h	35,754.5 kg-CO ₂ /年	95.0%	△ 目標未達
LX110 BDF使用による 二酸化炭素排出量	kg-CO ₂ /t	18.98 kg-CO ₂ /h	16.35 kg-CO ₂ /h	13,199.2 kg-CO ₂ /年	116.1%	○ 目標達成
ZX200 BDF使用による 二酸化炭素排出量	kg-CO ₂ /t	40.88 kg-CO ₂ /h	38.58 kg-CO ₂ /h	22,333.8 kg-CO ₂ /年	106.0%	○ 目標達成
ZV70 BDF使用による 二酸化炭素排出量	kg-CO ₂ /t	24.93 kg-CO ₂ /h	23.58 kg-CO ₂ /h	19,996.6 kg-CO ₂ /年	105.7%	○ 目標達成
BDF使用による 二酸化炭素排出削減量	kg-CO ₂ /年	— kg-CO ₂ /年	— kg-CO ₂ /年	-4,966.71 kg-CO ₂ /年	—	○
産業廃棄物排出量削減	t	がれきを破碎し再生骨材を生産していますが、排出する産業廃棄物は搬入されたがれきに付着している廃プラや木くずです。自ら削減することはできませんので、環境目標設定対象には適しません。				
自らが生産・販売する製品 に関する項目（清掃活動）	—	年2回以上	2回実施	—	継続	○ 目標達成
水使用量の削減	m ³	上水道は使用していません。 地下水を使用していますが、計測できませんので環境目標は策定せず、使用量の削減に努めることとします。				
化学物質使用量削減	—	化学物質は使用しておりません。				
CO ₂ 総排出量		142.67 kg-CO ₂ /h	138.39 kg-CO ₂ /h	98,827.10 kg-CO ₂ /年	103.1%	

2. 合同事務所部門

	単位	2023年			達成率	評価
		目標値	実績値	実績値/年		
購入電力の 二酸化炭素排出量	kg-CO ₂ /年	6,040.6 kg-CO ₂ /年	—	4,497.3 kg-CO ₂ /年	134.3%	○ 目標達成
LPGの 二酸化炭素排出量	kg-CO ₂ /年	33.7 kg-CO ₂ /年	—	31.5 kg-CO ₂ /年	107.0%	○ 目標達成
ガソリン使用による 二酸化炭素排出量	kg-CO ₂ /km	0.20 kg-CO ₂ /km	0.13 kg-CO ₂ /km	7,063.40 kg-CO ₂ /年	153.8%	○ 目標達成
一般廃棄物量削減	kg	329 kg/年	—	276.5 kg/年	119.0%	○ 目標達成
水使用量の削減	kg	39.9 m ³ /年	—	23.0 m ³ /年	173.5%	○ 目標達成
CO ₂ 総排出量			0.13 kg-CO ₂ /h	11,891.70 kg-CO ₂ /年		

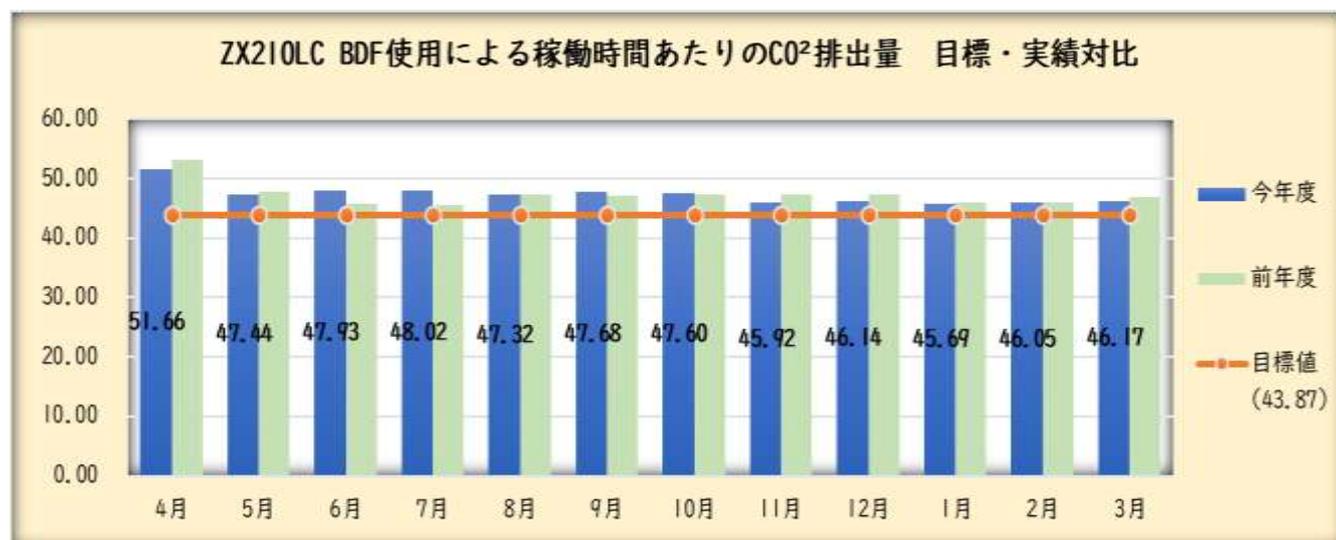
3. 輸送部門

- 1) 燃料節約…アイドリングストップの実施
- 2) 免許証・車検証等の更新時の提出…随時実施

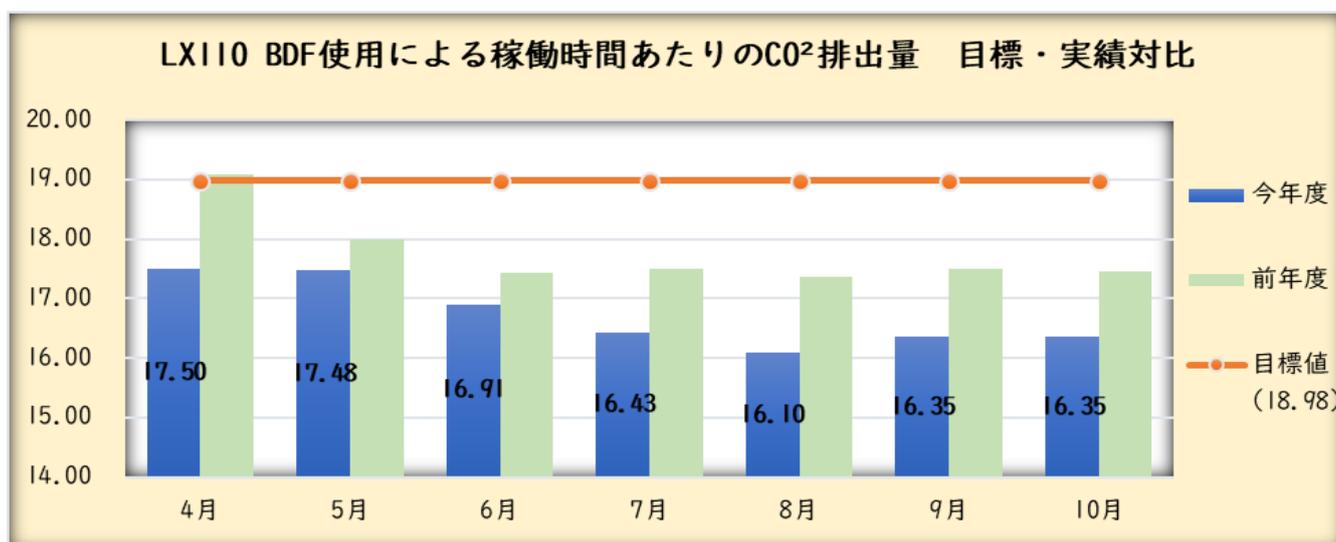
購入電力使用による生産時間あたりの二酸化炭素排出量目標値と実績推移



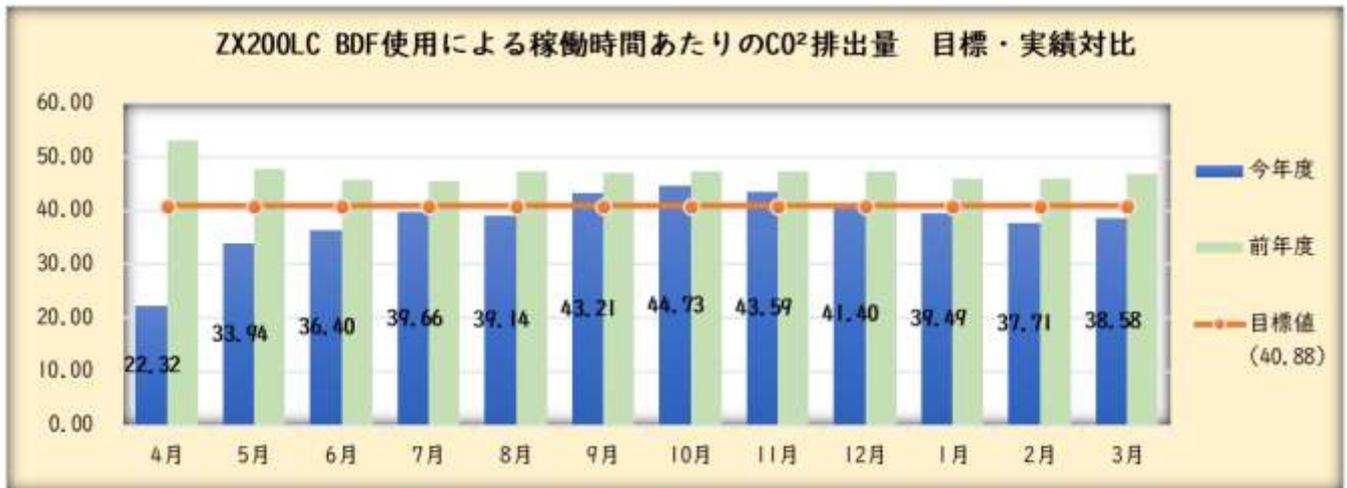
ZX210LC BDF使用による稼働時間あたりの二酸化炭素排出量目標値と実績推移



LX110 BDF使用による稼働時間あたりの二酸化炭素排出量目標値と実績推移



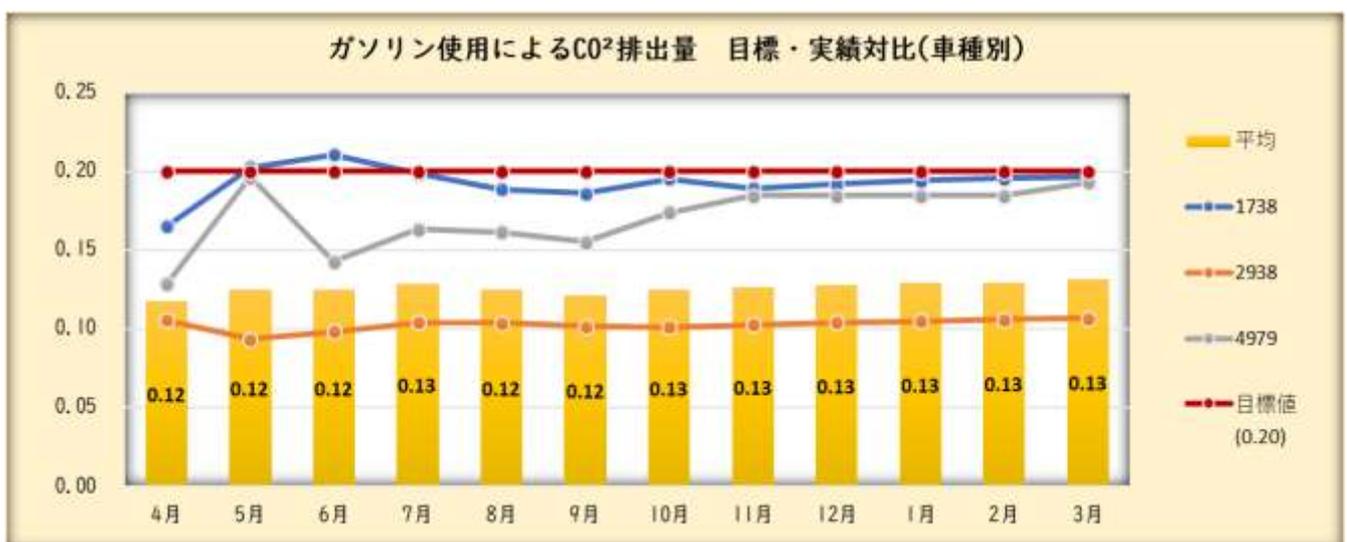
ZX200 BDFによる稼働時間あたりの二酸化炭素排出量目標値と実績推移



ZV70 BDF使用による稼働時間あたりの二酸化炭素排出量目標値と実績推移



ガソリン使用による走行距離(km)あたりの二酸化炭素排出量



電気使用による二酸化炭素排出量



LPG使用による二酸化炭素排出量



事務所ごみ排出量

目標値 329.0 kg

燃やせるごみ	重量 (kg)	リサイクルごみ	再生紙 (kg)
4月	3.1	4月	0.0
5月	4.9	5月	0.0
6月	2.7	6月	0.0
7月	5.4	7月	68.0
8月	2.5	8月	0.0
9月	2.6	9月	0.0
10月	6.6	10月	0.0
11月	0.0	11月	57.0
12月	4.2	12月	60.0
1月	0.0	1月	0.0
2月	2.6	2月	0.0
3月	2.9	3月	54.0
前年度 62.9kg	37.5	前年度 439.0kg	239.0
総量		276.5	kg

ごみ実績/目標 ⇒ **84.0%** 減少

総量からの可燃ごみの割合 **14%** 総量からの資源ごみの割合 **86%**

事務所水道使用量

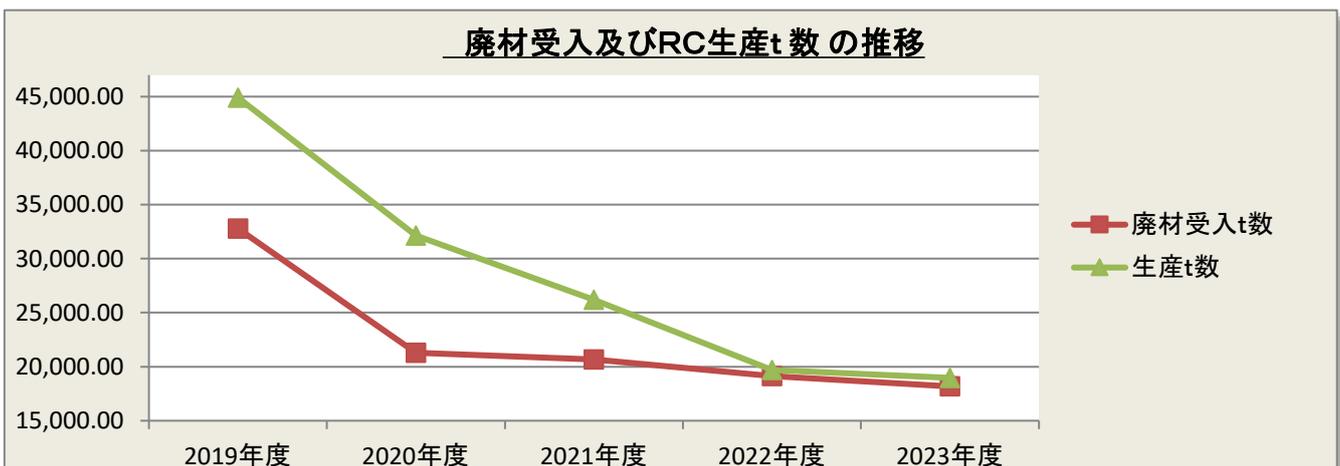
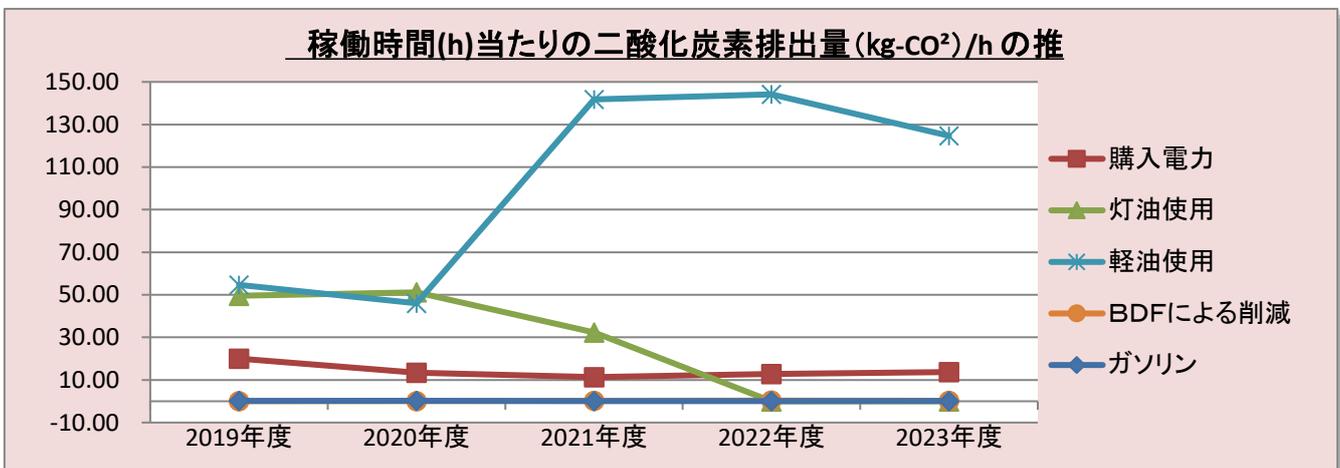
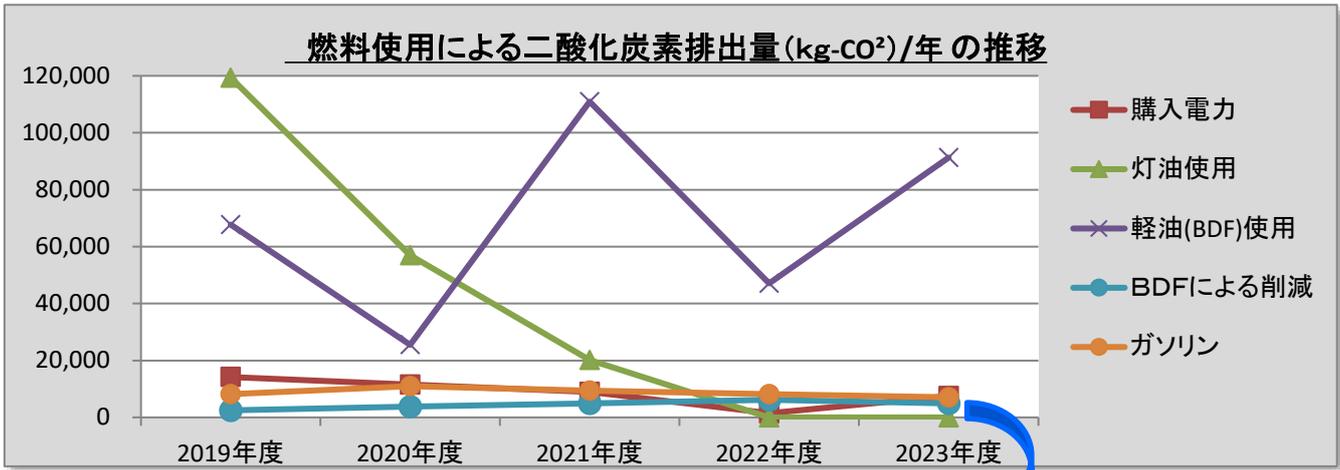
目標値 39.9 m³

使用量	
4月	3.0
5月	2.0
6月	2.0
7月	2.0
8月	2.0
9月	2.0
10月	2.0
11月	2.0
12月	2.0
1月	1.0
2月	2.0
3月	1.0
合計	23.0

前年度 **30.0m³**

実績/目標 ⇒ **57.6%** 減少

2023年度実績値のグラフ



V. 環境活動計画とその取組結果と評価並びに次年度の取り組み内容

各 項 目	評価欄	次年度の環境経営目標及び環境経営計画
1. リサイクルプラント部門		
1) 購入電力使用削減について		
・ 破砕プラントの空回しをしない	○	
・ 空調温度の徹底（暖房22℃・冷房27℃）	○	酷暑の場合は柔軟に運用する
・ 破砕歯の定期的な補修（肉盛）による生産性の向上	○	3回に分けて実施する
・ 照明のこまめな消灯（現場事務所）	○	
2) 化石燃料使用削減について		
・ 作業性を考慮し、無駄のない重機の場内移動を行う	○	
・ アイドリングストップの励行	○	熱中症予防には柔軟に対応する
・ 日常点検及びグリスアップの励行	○	
3) バイオ燃料の使用量拡大		
B D F使用機械を増やすよう努める	○	通年のデータ取得と分析
4) 地下水使用量の維持管理		
・ こまめに蛇口を閉め、節水に心掛ける	○	
5) 環境教育・訓練計画		
・ 環境経営システム運用教育	○	
・ 安全教育（運用に係る手順書等の説明）	○	
・ 想定緊急事態対応教育・訓練（火災・作動油飛散）	○	
6) 構内整備活動計画		
・ 構内パトロール（施設点検日誌）にて毎日実施	○	
・ リターンローラーの下を作業終了後に泥上げする	○	
・ 周辺地域との共生作業として、周辺の草刈り作業の実施	○	年2回以上実施する
・ 周辺地域との共生作業として、搬入路の清掃作業の実施	○	定期的実施する
・ 廃プラ・廃棄くずの搬出	○	定期的搬出する
2. 合同事務所部門		
1) 廃棄物分別の徹底		
・ 排出するごみの量を分別・計測して削減する	○	
・ コピー用紙の裏面の利用	○	
・ 詰め替え可能な製品購入の徹底	○	
2) 購入電力使用削減について		
・ 空調温度の徹底（暖房22℃・冷房27℃）	○	扇風機等を活用する
・ 不要な照明は消灯する	○	不必要な照明の消灯、休憩時間等の消灯
・ 電気製品買い替えの場合、節電対策製品購入の推進	○	
3) 化石燃料（LPガス）使用削減について		
・ 給湯器利用時の設定温度を下げる	○	
4) 水道使用量削減について		
・ トイレの流水音発生器を導入し、使用徹底の上節水する	○	他社にも節水活動を呼びかける
・ 給湯室や足洗い場の無駄な水道利用を控える	○	自動水栓を利用
5) 訓練計画		
・ 想定緊急事態対応教育・訓練（火災）	○	
3. 輸送部門（江合輸送部は外注なので、実施にあたり各運転者に要請する形で行う）		
1) 現在行っている燃費の削減活動を維持する(アイドリングストップ)	○	
2) 業務管理上において、免許証等の更新時に随時提出する	○	
3) 緊急時対応策を定め、周知する	○	年1回、社員と合同で実施

《主 な 活 動 紹 介》

【交通安全運動】



春 2023年5月11日～20日
秋 2023年9月21日～30日

交通安全運動(春・秋)週間中、旗を掲げ、周辺を通行する車や歩行者に交通安全を促しています。

【草刈り】



草刈前

草刈後

構内の草刈は、年3～4回ほど実施しています。

【クリーンキャンペーン】

・大崎市

2024年7月7日

・宮城県

2024年8月25日



毎年、宮城県主催と大崎市主催のクリーンキャンペーンに参加し、市道・県道のごみ拾いをしています。

【交通安全DVD視聴】



プラント 2023年9月13日
事務所 2023年9月19日

交通安全協会から送られた交通安全DVDを視聴し、周囲の安全確認や安全運転走行を心がけることを学びました。普段の現場作業と照らし合わせ、尚一層、安全作業に従事することを誓いました。

【安全大会】

2023年7月29日



「安全なくして企業なし」「安全は我が身・家族のため=人生を変えてしまう災害のもとを見逃すな!」スローガンを基に本年も開催しました。

- ・私の1年の誓い(安全重点目標)として前年の反省と今年度の誓いを発表。それぞれの達成状況や反省点を述べました。
- ・代表者の安全パトロールにより受けた指摘事項を早急に改善し報告しました。
- ・ヒヤリハット報告では全員がヒヤリとした事項の原因と対策を述べました。

《主な活動紹介》

【災害実動訓練】

2023年11月2日

災害情報収集依頼
 ～災害対策本部より～
 災害協定に基づきパトロールを開始し、災害情報システムへパトロール状況を報告します。
 災害報告用URLは下記です。
https://bp1.basepage.com/autv/tenken/entries/new.html?tm_code=12302&itm_code=10205
 (一社)宮城県建設業協会
 災害対策本部

実動訓練
 ～災害対策本部より～
 貴支部管内で重大な被災報告がありました。
 被災現場に参集して下さい。
 (一社)宮城県建設業協会
 災害対策本部



宮城県建設業協会主催の実動訓練で、災害協定に基づきパトロールを開始し、災害情報システムへパトロール状況を報告します。

【防疫(埋却)演習】

2023年10月17日



宮城県建設業協会大崎支部では、県と「防疫措置への協力業務に関する協定」を締結しています。今回初めて、特定家畜伝染病発生時における防疫(埋却)演習を行いました。

【無災害記録8,000日達成】

2024年3月6日



リサイクルプラントの操業から数えて2024年3月6日、無災害記録8000日を達成しました。日頃の安全作業の賜物と感じます。これからも更に気を引き締めて安全作業に徹します。

VI.環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無

1.産業廃棄物収集運搬・処分業部門

環境法規等名称	基準	該当有無
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	①保管状態(下端から50%勾配) ②掲示板設置 ③マニフェスト管理 ④マニフェスト交付、収集運搬実績報告	○
騒音規制法	①特定施設届(原動機の定格出力が7.5kW以上…第4種区域) 規制基準…昼間65dB以下、朝夕60dB以下、夜間55dB以下	○
振動規制法	①特定施設届(原動機の定格出力が7.5kW以上…第2種区域) 規制基準…昼間65dB以下、夜間60dB以下	○
消防法	①消火器の設置・点検	○
水質汚濁防止法	①油水分離槽設置	○
	②水質調査 基準値…水素イオン濃度(pH) 5.8~8.6 生物化学低酸素要求量(BOD) 160mg/l以下 浮遊物質質量(SS) 200mg/l以下 ルマヘキサン抽出物質含有量 3.5mg/l以下	○
大気汚染防止法	①特定施設届(原動機の定格出力が75kW以上)	○
	粉じん発生場所…特定粉じん作業特別教育を受講	-

↓

コンクリート破碎は該当しない

2.事務所部門

環境法規等名称	基準	該当有無
フロン排出抑制法	①エアコンのフロン排出検査 ※要定期点検は圧縮機の定格出力が7.5kW以上。 取付けた機種は1.65kWなので簡易点検でOK。	○
消防法	①消火器の設置・点検	○

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、遵守されていました。
近隣・行政等からの苦情もありませんでした。
なお、違反、訴訟等もありませんでした。

【環境経営結果の評価】

・環境経営システムの有効性

今年度も環境管理責任者と事務局及びプラントの責任者のコミュニケーションが良好であり、それに伴う成果が出ていると評価します。
無災害8000日達成は、システムの有効性があればこそできたものと評価します。

・環境への取組の適切性

1. 無災害8000日達成は、取り組みの適正の最たるものと言えます。
2. 社員駐車場の舗装が出来ました。
3. 社有車のハイブリッドへの入れ替えて、燃料消費が改善されました。

【改善指示事項】

・環境経営方針 変更なし

・環境経営目標

1. 小さな積上げでCO²削減大効果を出す取り組みを検討すること。
2. 再生電力の調達について情報収集すること。
3. 3Sの浸透を図り、全員の意識を高めること。

・環境経営計画

1. 日常の活動を徹底し、その成果の積み上げを実績として集計すること。
 - (1) 冷暖房エアコンのサーキュレーターとの併用での負荷軽減を検討すること。
 - (2) 紙類の焼却分を極力リサイクルに分類すること。
 - (3) プラスチックの焼却分類しているものをリサイクルにするよう周知徹底すること。
 - (4) 不要な照明を消すよう徹底すると。
 - (5) その他
2. 再生可能エネルギーの情報収集。
3. 3S（整理・整頓・清掃）活動の導入をして、確実に定着を図り、早期に次のステップに上げるよう努めること。
4. 無災害記録9,000日に向けて、新たな気持ちで挑戦を始めること。
5. 熱中症対策にWBGT等を活用して具体的指示を出すこと。

・実施体制

リサイクルプラント部門責任者を変更。